

農場だより
2021年度
6・7月号

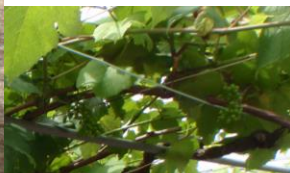
果樹 フドウ“テラウェア”摘粒

2回目のジベレリン処理から1週間で果実の肥大が見られてきました。これからの時期は摘粒作業が行われます。いい商品にするために欠かせない作業です。



←2年生

3年生



摘粒手順

- ①小さい果実。
- ②奥にある果実。
- ③傷のある果実。
- ④バランスよく配置されるように。



前

後



6月2日

屋台 マルシェで使う屋台を塗装してみた

農業教育一貫プロジェクトが始動し、和歌山駅前
で農業高校生が作った作物や加工品を販売すること
になりました。この屋台は、県の食品流通課から2台
お借りしました。販売用に使用する屋台に木材用の
ワックスを塗布している様子です。



6月5日

駅前マルシェの風景 販売に参加した皆さんが頑張ってくれました。

6月11日の販売風景です。



6月18日の販売に生徒は参加できませんでした。



6月18日

果樹 ミカンの摘果を再確認

ミカンは6月に自然落下し果実数を減らします。このことを生理落果(ジューンドロップ)といいます。これからの時期は粗摘果といって、小さい果実や傷物などを摘果し、約半分くらいにします。その確認をしました。

摘果する果実は

- ①周りより小さい果実。
- ②傷のついた果実。
- ③日焼けしそうな天なり果。
- ④鈴成り果は2果程度に。



6月21日

農業クラブ 農業実物鑑定競技予選会

農業級位検定と共に実施されるこの実物鑑定の試験は、学校代表を決定する大切な試験です。代表者は、本年度兵庫県で行われる全国大会に出場することになります。



7月7日

駅前マルシェ

1学期最後の当番校は、本校です。他の学校からの参加はありませんでした。この時期、あまり販売するものがないが、この活動を楽しみにしてくださっている方がおられることを知りました。生徒は、丁寧に対応できていました。



屋台の組み立てを行っている様子です。さあ、販売です。



7月16日

農業クラブ

農業クラブ県大会

和歌山市南コミュニティセンター

意見発表の部



意見発表3分野にプロジェクトは、1分野にエントリーしました。緊張しながらの発表！みなさんよく頑張りました。



分野Ⅰ類 生産・流通・経営
「私の生きる道」



分野Ⅱ類 開発・保全・創造
「未来予想図」



分野Ⅲ類 ヒューマンサービス
「スマート農業について」



プロジェクト発表の部
分野Ⅲ類 ヒューマンサービス
「アグリ☆スマイルの復活」



近畿大会出場

7月26日

特別実習

耕作放棄地を復活させる！

本校近くに「ぽっぽ道」が通っていますが、この道側に手つかずの土地になっている圃場があります。農業クラブ活動の一環としてこの土地を利用して収益を上げようと除草活動を行いました。汗だくになりながら頑張りました。



栽培を放棄してしま
うと復活させるのは
本当に大変です。

[トップページに戻る](#)

7月29日